

釣部与志氏を悼む

横田英子



本年1月15日
心臓麻痺のため急逝

額縁の写真に見入る。黒いバックに穂が散っている。蒲が一本拡大され、その綿毛の柔らかな感触が伝わってくるようで、その詩も素晴らしい。もう十年前も前、釣部さんからいただいた。もう一枚は同じ大きさでルミナリエの写真。その頃、見てきた電飾の美しさを私が言いつのつたからかも知れない。以来、その二枚の写真。今、身に沁みて、改めて読み味わっている。

蒲の群生はふわりと揺れて

絡みついていく

滅びていくものの声を風化させて

幾つもの絶滅を物語る断層は

一つの時代の終生を教える

蒲の原が何万何百万の

蒲の穂を抱えて

何度か、詩画展の度にあの作品を提出するよう呼びかけたが、笑って手を振るその仕草がふいと浮上する。と共に、合評会でのその時々釣部与志氏の声や姿も浮かんで、その不在の寂しさ、哀しさを改めて感じる。

その心もとなさを私たちは、どんな風に認めてい

かなければならないのだろう。自分よりずっと若い人ゆえになおさら哀しいこと。

関西詩人協会の重要な役割、リヴィエール同人としても、毎回の出席者であり編集者の一人としてなお今後、それぞれの道に頑張る気配を感じ、おおいに期待しその人柄の豊かさ、大らかな魂の人の生きざまに教示を受ける人の不在に、ただただ寂しく哀しい。

けれど、その息吹を受け継いでいくことも大切なのだと言い聞かせ、安らかに眠られるよう、お祈りします。

追悼佐古祐二さん

尾崎まこと



昨年2018年11月6日に佐古祐二さんは亡くなられた。日本現代詩人会、詩人会議、大阪詩人会議「軸」、関西詩人協会の運営委員、総合詩誌「PO」の編集長、詩誌「イリヤ」同人、詩を朗読する詩人の会「風」世話役、などで詩人として長年活躍された。一方、有能な弁護士として日本の民主主義のために貢献されていたことは、他でも書かれている通りである。

この日、左子真由美さんと入院されている金剛の病院にお見舞に行く予定だった。奥様より竹林館へ

の電話で訃報を聞いた。祐二さんの詩にたびたび登場する奥様のお気持ちは想像するだけでも辛かった。

2018年11月20日発行の「PO」171号が編集長としての佐古さんの最後の仕事となったが、ついに見ていただけなかった。その巻頭の詩が期せずして彼の「過ぎさらなかつたもの」であった。数か月前の編集会議で勧めたのは僕だったが、いつも控えめな佐古さんが二もなく承諾された。これが絶筆となった。ここに引用させていただくが、ひとり寡黙な男の、隠れた意思と愛する者への伝言があると感じ入る。

君のやわらかな唇にははじめて触れた

初夏の黄昏のひかりのこと

君の白い柔肌に日焼け止めのローションを塗った

うれしい

も

かなしい

も

分かち合って白髪を染める年となった

糟糠の妻よ

君のことが好きだ

記憶とは

過ぎ去ったものことではなく

過ぎ去らなかつたものことだ

佐古祐二さんが愛したものは過ぎ去らない。

その限りにおいて、祐二さんも私たちから過ぎ去らないだろう。

《会員の書籍》 紹介文・山田兼士

奥村和子『恋して、歌ひて、あらがひて——わたくし語り石上露子』(竹林館)

阪井達生『雨の日のポトフ』(濤標) 定年退職後に

帰り着いた時空は昭和30年代の路地だった。釘刺し、ぺったん、ビー玉、脱脂粉乳、チキンラーメン。苦くも甘くもある自由を深く味わいながら、詩は自在に時空を駆け巡る。幻想と郷愁と哀歓がごった煮(ポトフ)になった、新しい味覚の生活詩篇だ。

吉田定一『You are here』(竹林館) 1941年生まれのベテラン詩人の新作は端正な佇まいとくつきりした輪郭が印象的な54篇。モダニズム風のウィットに富んだ5行詩も好ましく、隅々まで優しい視線の行き届いた作品群だ。老いの悲しみや辛さもまた、軽やかで伸びやかな口調で穏やかに綴られていく。

山本なおこ絵童話集『ショウとリョウふたりはふたご』(竹林館)

三浦千賀子詩集『友よ、明日のために』(竹林館)

葉師川虹一訳詩集 リジア・シムクレーテ『煌めく風』(竹林館)

《会員発行の詩誌》

100円詩集

Messier 52号

PO 172号

アリゼ 188号

異郷47号・増刊号

QUARTETTEカルテット6号

極光30号

秋桜23号

樹音76号

新療原29号

ターミナル13号

銚79号

ぼとり52号

百合樹 3号

ラヴィーン204号

銀河詩手帖291・292号

現代詩神戸264号

コールサック97号

リヴィエール163号

熊井三郎

香山雅代

左子真由美

以倉紘平

村上久雄

山田兼士

原子修

志田静枝

森ちふく

小林尹夫

神田さよ

呉屋比呂志

武西良和

川本説子

牧田久未

近藤摩耶

永井ますみ

佐相憲一

横田英子

岡山県詩人協会だより 24・25号

O C O S 220号 大阪文化団体連合会

香川県詩集22集2018版 香川県詩人協会

鹿児島県詩集第22集 鹿児島県詩人協会

岐阜県詩人集 第6号2019

群馬詩人クラブ308号

群馬年刊詩集2018 群馬詩人クラブ

埼玉詩人協会会報88号

島根県詩人連合会報85号

とっとり詩集第8集・20周年記念号

鳥取県現代詩人協会

長野県詩集51 長野県詩人協会

日本詩歌句協会会報31号

日本現代詩人会会報153号

日本詩人クラブ 詩会通信85号

兵庫県現代詩協会会報44号

ひょうご現代詩集2018 兵庫県現代詩協会

福岡県詩人会会報172号

福岡県現代詩人会会報120号

宮城県詩人会会報28号

宮城の現代詩2018 宮城県詩人会

横浜詩人会通信309号

横浜詩人会創立60周年記念誌・海よ

秋田県現代詩協会会報59号

秋田県現代詩年鑑2019

栃木県現代詩人会会報75号

中日詩人会会報194号

長野県詩人会会報140号

中四国詩人会ニューズレター45号 中四国詩人会

《団体の会報・図書》

いしかわ詩人 47号 石川詩人会

石川詩人会 第6回かなざわ現代詩コンクール受賞作品集

岩手県詩人クラブ 皿第93号

大分県詩人連盟会報 いちご通信22号

大分県詩集2018年版 大分詩人協会編